

(様式2)

令和 3 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1571000320		
法人名	社会福祉法人 苗場福祉会		
事業所名	グループホームゆきんこ		
所在地	新潟県十日町市四日町1332番地		
自己評価作成日	令和3年10月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1571000320-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和3年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・お客様それぞれの役割作りに取り組んでいる
- ・お客様だけでなく、職員も楽しめる企画をたてている
- ・研修や勉強会などのバックアップ体制が出来ている
- ・グループホームで行える看取りケア

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○理念の共有とその人らしさを意識した支援への取り組み

事業所は開設から18年を迎え職員は法人の示す理念に沿い、事業所として、週ごと、月ごとに目標を掲げて、利用者の「その人らしい」生活が送れるよう、これまでの暮らしや意向の把握に努めながら、日々の関わりを通して理念の共有を図っている。目標は職員の年2回の自己評価に繋がり、目標を通して達成度を確認している。また地域の一員として自然体で交流が出来ていた日々がコロナ禍により出来なくなっているが、それでも職員は工夫しながら地域主催の共同作業会に参加し、地域住民としての役割を担っている。今月より、玄関先の認知症カフェを行っていた空きスペースを活用して直接的な面会が出来るよう取り組んでいる。少しずつではあるが慎重に交流の機会を作り、本人の望む暮らしが送れるよう事業所としての役割りを意識しながら、その人らしさを大切に支援に取り組んでいる。

○家族や地域との交流を継続しながら安心した生活への支援

利用者の持てる力を育て、支援の工夫などいろいろな蓄積があり、それらを話し合い、記録に取り、発表するなどしながら自らを育てている事業所である。また、今年は厳しい状況ではあったが、地域の方との交流でも事業所の避難訓練に、地域の消防団にも参加していただき、一緒に避難訓練を行う等してきた。災害時は法人内の他施設への移動も考え、各居室入り口に取り出し易いよう、防災頭巾を設置、避難した利用者の確認方法等を工夫している。医療関係者との連携では、重度化や終末期になっても、本人・家族と話し合いながら、可能な限り希望する事業所での暮らしの継続について、本人や家族、主治医や訪問看護ステーションそして職員とのチームワークで支えていく関係性を大切にしている。